

受験にあたっての主な注意事項・お願い

試験場における感染拡大を防止し、受験者自身が安心して受験できる環境を確保するため、以下の事項を要請します。必ず確認してください。

1. 自主検温

試験日の7日程度前から、朝などに体温測定を行うこととし、体調の変化の有無を確認してください。

2. 医療機関での受診

試験日の1週間程度前から、発熱・咳等の症状がある受験者は、予め医療機関での受診を行ってください。

3. 受験できない者

インフルエンザウイルス、ノロウイルス、新型コロナウイルス等の感染症にかかり、試験日に入院中または自宅や宿泊施設において療養中の者は、他の受験者や監督者等に感染する恐れがあるため受験はできません。

また、発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者については、予め本学アドミッションオフィスに連絡してください。

4. 試験当日における対応

- ① 37.5度以上の熱はないものの、発熱や咳の症状がある受験者は、その旨を試験場係員に申し出てください。
- ② 症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験場では、飲食時以外は常に着用してください。ただし、本人確認の際等、監督者の指示があった場合は一時的にマスクを外してください。また、何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、予め本学アドミッションオフィスに連絡してください。
- ③ 試験室の入退出の際には、設置されたアルコール製剤による手指消毒を必ず行ってください。
- ④ 休憩時間や昼食時等における他者との接触、会話を極力控えてください。
- ⑤ 試験場内では混雑を避け、他の受験者と一定の間隔をあけて行動してください。
- ⑥ 試験室の換気のため扉の開放等を行う時間帯があるため、上着等の体温調整ができる服を持参してください。
- ⑦ 昼食は各自で用意し、指定の時間内に自席で食事を摂ってください。

5. ワクチンの接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断においてインフルエンザワクチンその他の予防接種を受けておくことが望ましいです。

6. 「新しい生活様式」等の実践

日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避等を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠等、体調管理を心がけてください。

7. その他

新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のインストールを推奨します。